

# 東京アカデミー高松校公務員講座 合格へ導く5つの強み

## 1 「一般知能」を速く正確に解く コツを確実に身に付ける

【一般知能】[判断推理][数的推理][空間把握][資料解釈]は、  
公務員試験(教養試験)全出題数の4割を占める最重要科目にもかかわらず、

- [判断推理]→学習指導要領に組み込まれていないから学んだことがない。
- [空間把握][資料解釈]→解法のコツがあるのに教えてもらったことがない。
- [数的推理]→高1数学までの学習内容だけどすっかり忘れている。

等の理由で、苦手とする受験生が多いのが実状です。



東京アカデミーでは

「一般知能」講義で、

「速く正確に解く方法=解法のコツ」を、受講生が理解しているかどうか、毎週の講義前小テストで確認していきます。

特に出題確率の高い問題をピックアップし、受講生の理解度に応じて次回講義内で再解説を行います。



公務員受験対策は長期戦です。対策に行き詰ったり、仕事や大学との両立が困難になったり、また、模擬試験の成績をみて不安になったり落ち込んだりするものが、公務員受験。特に、大学の友人が早々に民間企業の内定をもらっていると、「公務員になる！」と決めた時の強い気持ちを、変わらず持ち続けることが困難に感じる時さえあります。

東京アカデミーでは

あなたの「公務員になる！」と決めた時の強い気持ちを維持できるよう、様々な角度からサポートしていきます。

### ホームルーム(HR)

受講期間中に複数回実施するHRで、受講生が自分の目標と改めて向き合う機会を作っています。今、なにを、どのくらい、どのように進めていけばいいのかを具体的に指導します。

### チューター制度

高松校ではチューター制度(合格者による個別学習相談)を導入しています。チューターからアドバイスを受けながら、受講生自身で学習計画や行動計画を作成、見直しできるようサポートしています。

### 合格者座談会

合格された受講生を招き座談会を行います。合格者がどのように学習していたのかが、様々なお話を聞くことができます。

## 3 「公務員になる！」 その気持ちを応援する、合格サポート

## 「面接が苦手！」が克服できる 指導とサポート環境

コロナ禍後の公務員試験では、人物試験重視がますます強まった印象です。個別面接、集団面接に加えて、プレゼンテーションや、録画面接動画の提出を課す自治体も増加する中、コロナ禍中控えられていた集団討論も完全復活し、多くの自治体でほぼ必須試験となっています。また、試験当日に初めて出会った、性格も考え方も何一つ共有できていない複数人の受験生と、息を合わせて一つの道筋を作るのが集団討論試験。その中で、自身の公務員としての資質能力を証明しないといけません。



東京アカデミーでは

### ●ディスカッション

隙間時間を活用して、受講生同士で、自身の関心事や、日々のトピックスから一つ選んでディスカッションを行い、会話を高める取り組みを実施します。

### ●合同オンラインミーティング

月に1度、中四国4校舎の受講生による合同オンラインミーティングを実施します。初めて出会う他校舎の受験生との集団討論や、他校舎のクラス担任によるオンライン面接指導など、本番さながらの環境を創出して、面接試験に強い会話を高めています。

### ●グループワーク

11月以降、月に2回程度、志望先別に集まって自治体の取り組みなどを調べる自治体研究グループワークを実施します。集団討論対策の第一歩は、知識注入と整理です。受講生同士で情報交換することにより、知識を活用する方法を身に付けることができます。

## 5 「あなたの強み」を 引き出す個別指導

面接重視の時代、採用側は、正しく優秀な答えだけを求めているのではありません。これから一緒に働きたい、採用後に伸びしろがある、と期待できる答えを、受験生自身の回答に求めているのです。

### 高松校では

一人一人の志望先に合わせて**何度でも、志望動機作りや面接回答をマンツーマンで指導**していきます。



得意科目や生活スケジュール、目指す公務員試験は皆さまそれぞれ異なります。単位をほぼ取り終えている大学3年生と、仕事をしながら公務員を目指す社会人とは、1日に捻出できる学習時間そのものに差がありますし、また、得意科目、不得意科目は、受講生によってさまざまなものから、取り掛かる科目が同じであるはずがありません。さらに、社会経験が豊かな受験生と、そうでない受験生では、必要なアドバイスも異なってきます。

東京アカデミーでは

学校や仕事のスケジュールなど、受講生一人一人の学習環境をクラス担任がヒアリングして状況を把握し、より具体的で実践的な学習計画指導(面談)を行います。

- 1週間にどれくらいの学習時間を確保できるかを把握
- 模試成績分析および志望先試験分析から受講生が取り組む科目を選定し、優先順位をつけながら、1日の科目別学習時間を設定してオリジナル週間学習スケジュールを作成していきます。
- 学習計画指導(面談)は、11月以降、全8回の模試時にアナウンスを行い、受講生の希望に合わせて何度でも実施します。
- 志望先に関連する具体的なボランティア活動やイベントを紹介



## 「あなただけの学習スケジュール」 を作成

## 4